●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域とともにある学校づくりを推進していく上で，地域人材の生きがいや子どもたちの豊かな学びを創出していくための人材確保が課題となっている。	地域学校協働活動推進員とコーディネーターが中心となり，学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に向けて，地域・学校・公民館職員等が連携・協働し，事業の共催を全地区でそれぞれ年2回開催することによりコミュニティ・スクールを定着させ，地域人材の確保に取り組んでいく。	（中期アウトカム） コミュニティスクールに参画する地域住民等が増加することにより，学校・地域・公民館がそれぞれの役割を果たしながら協働し，地域とともにある学校を定着させていく。	学校支援ボランティア活用件数	500	件	1000	1060	3	・コミュニティ・スクールが定着している地区が増えてきており，地域人材の確保ができてきている。 ・定着していない地区については，引き続き，地域・学校・公民館職員等が連携・推進をはかっていく。
②学校と地域の課題	通学路等の地域安全・地域防災	公民館と連携し，学校を核とした地域づくりを推進していくうえで，近隣住民との交流が希薄になりつつあることにより，通学路や地域の安全確保のためのネットワーク構築が課題となっている。	公民館を核とした地域学校協働本部が中心となり，地域行事と学校行事を全地区でそれぞれ年2回開催することにより，安全な地域づくりを目指すとともに，地域・学校・公民館職員等が連携・協働した地域合同防災訓練を定期的に実施し，地域住民同士のネットワークづくりを推進していく。	（初期アウトカム） 地域行事と学校行事の共催が増加することにより，地域住民のつながりが再構築されるとともに，学校と地域がつながっていく。	地域学校協働活動の実施件数	26	件	52	52	3	・すべての地区で地域行事と学校行事を開催することができた。
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	全ての小学校区で休日に開催している放課後子ども教室において，各小学校区での開催回数（年3回～12回）や内容にばらつきがあるため，児童及び保護者の活動に参加する機会や地域住民との交流の場をあまり提供できていない小学校区が存在する。	放課後子ども教室の事業内容の可視化，共有することにより，形骸化しつつある事業内容の見直しをし，全ての地区で2箇月に1回開催し，児童，保護者及び地域住民が参加しやすい環境を整える。	（初期アウトカム） 活動に参加する児童，保護者，地域住民が増加する。	休日に開催する放課後子ども教室への参加者数	1000	人	1200	1786	4	・すべての地区において，休日，放課後子ども教室を3回以上開催することができた。 ・児童だけでなく，保護者，地域住民，ボランティアの参加者が増えており，地域住民同士の交流ができてきている。 ・開催回数が少ない地区については，他地区との情報共有をはかり，事業内容の見直しをはかっていく。